



大阪市立 南百済小学校

- 所在地 湯里1-15-40
- 電話番号 06-6701-0207
- HPアドレス <https://swa.city-osaka.ed.jp/weblog/index.php?id=e741695>
- 校長 原田 聡
- 標準服 あり
- 集団登校 あり

携帯用



スマホ用



学校概要

校訓: 自主 創造 協同 責任
教育目標: 確かな学力・豊かな人間性・
 心身ともに健康な子ども

めざす子ども像

- 自ら学ぶ子ども (学力向上)
 - 互いの違いを認め合える子ども (道徳心・社会性の育成)
 - いきいきと生活する子ども (健康・体力の保持増進)
- (すべての教育活動の基盤に人権教育の精神を)

運営に関する計画

【安心・安全な教育の推進】

- いじめ解消の取り組み充実
- 自尊感情の醸成を目指す取り組み

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 国語科、算数科の学力向上
- 話し合い活動の充実
- 少人数指導、個に応じた指導の充実
- 投の運動に関する企画や環境の整備

【学びを支える教育環境の充実】

- 学習者用端末の積極的活用
- 読書活動の充実
- 教職員の健康的な働き方の追求

【その他】

- 防災、減災教育の推進

全国学力・学習状況調査結果 (令和5年度)

※全国・大阪市の平均についてはP12を参照

	国語	算数
平均正答率 (%)	65	62

【国語】

全国平均から2.2ポイント下回る結果だった。特に情報の扱い方に関する項目、書くこと、読むことにおいては3ポイント以上の差があった。無答率では全国平均4.8%に対し、本校は3.1%と問題に対して粘り強く回答しようとしている。しかし、書く問題に対してのみ無答率が全国平均を上回っていた。日常的に書く活動を取り入れる中で、書き方の基本を身に着ける必要がある。

【算数】

全国平均から0.5ポイント下回る結果だった。しかし、学習指導要領の領域別に分析すると、図形で1.4ポイント、変化と関係で1.2ポイント、データの活用で0.7ポイント全国平均を上回っている。唯一下回っているのが数と計算領域で4.2ポイントと大きく差が開き、全体の結果に影響している。無答率が全国3.4%に対して、1.8%と根気よく問題に取り組んでいる。昨年度課題として見えていた図形領域では、全国平均を上回り、重点的に指導してきた成果が表れた。加法と乗法の混合した整数の計算など数と計算領域の問題に対して復習し、定着を図る必要がある。

児童数・学級数

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
児童数	71	83	98	75	78	80	485
学級数	2	3	3	3	3	2	16
特別支援学級							8

全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果 (令和5年度)

※全国・大阪市の平均についてはP12を参照

種目別	種目	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
平均値	男子	15.52	17	39.48	41	56	9.01	145.76	19.81	54.19
	女子	16.98	17	45.17	39	37	9.45	140.53	11.60	55.17

男女ともに「長座体前屈」「反復横とび」「20mシャトルラン」「50m走」は全国平均を上回った。男女で比較すると、「握力」の結果に差があり、女子は全国平均を上回っているが、男子は下回った。また、男子では「握力」「上体起こし」「立ち幅とび」「ソフトボール投げ」の4種目で全国平均を下回り、女子は「立ち幅とび」がわずかに大阪市平均を上回ったものの、「上体起こし」「ソフトボール」を合わせた3種目が全国平均を下回った。体力合計点は男女ともに全国平均を上回っている。

児童質問紙での質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」では肯定的に回答した児童の割合が男子94%、女子93.6%と高い水準であり、1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は男子3.1%、女子4.5%と市平均、全国平均と比べて大変少ない結果であった。

昨年度まで、「走」の運動に特化した取り組みを充実させてきたが、今年度から「投」の力を伸ばすための取り組みを始める。

学校の沿革のうち、特筆すべき事項

明治7(1874)年林覚寺という校区にあるお寺に仮の教室を設け、住吉郡4番小学校として開校。その翌年に校舎が湯谷島という所に建設されました。やがて、東田辺・鷹合・今川・湯里の各小学校が本校から分離・独立していきます。平成23(2011)年度には中運動場が芝生化。今年6月1日には創立150周年を迎え、地域一帯で祝賀記念を行いました。



家庭・地域との連携

- 地域のボランティア「南百済グリーンクラブ」の方々が、子ども達が安心して遊べる中運動場(なかうん)の芝生を管理してくださり、年中ふかふかな芝生で遊ぶことができます。キッズサポーターとしてお手伝いをして参加する子どももいます。
- 毎月の土曜日に「ふれあい食堂」と「芝生食堂」がそれぞれ1度開催されます。子ども達の「居場所」「子育て中の親のリフレッシュの場」として利用でき、家庭・地域が連携し、一丸となって子どもや保護者の方々を見守って頂いています。



学校の施設、校舎、運動場の面積

南百済小学校には「なかうん」、「ひがうん」という愛称で親しまれている2つの運動場があります。前者が中運動場で、平成23(2011)年度に芝生化。児童は芝生の感触を確かめながら鬼ごっこなどを楽しんでいます。後者の東運動場では、広大な敷地を生かして、サッカーやドッジボールなどの球技を楽しんでいます。土曜日には児童が安心して遊べるようにと校庭が開放されます。ソフトボール、サッカー、バスケットボールなどの社会体育も盛んに行われています。令和11年度には、現在の東運動場に5階建ての新校舎が完成予定。同時に新体育館、新プールも建設される予定です。



家庭・地域との連携

南百済地域では「子どもの安全に関わる積極的な活動を!」という気運が高まり、平成17(2005)年4月、学校・保護者・地域がネットワークを組んで、学校支援見守り隊「守るんジャー」が結成されました。黄緑色のゼッケンやジャンパーを着た地域住民の多くの方々がPTA校外指導委員の方々と協力しながら、「ごほうびは子どもたちの笑顔」を合言葉にして、子ども達の登下校を毎日見守っています。毎年4月には、守るんジャーの方々との対面式を行い、一緒に下校するのが恒例となっています。

総合的な学習の時間の内容その他教科・領域等の教育に関する情報

南百済小学校では、ゲストティーチャーを招へいして数々の出前授業を行っています。2年生の「昔遊び体験」では地域の方々にけん玉、ビー玉、お手玉などの昔遊びを、3年生の「昔の道具体験」では洗濯板での洗濯や七輪を使ったもち焼きなどを教えていただきます。また、5年生では農協の方を招いて稲の植え方を教えてもらい、バケツ稲を育てたり、6年生では環境局の方を招いて、地球環境について学ぶ体験型学習をしたりしています。

